

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談
2. 日時：令和2年12月15日(火)13時30分～14時50分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、  
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 本部長代理

事業統括部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他 9名

#### 5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料2について)

- ・津波防護に係る引き波の対策として消波ブロックの設置等の対策を講じることを資料中で明確に示すこと。

(資料3について)

- ・TVFの事故対処については、事故の要因となる事象が発生した場合に必要となる対策の考え方を明確に示すこと。例えば、TVFの工程内の高放射性廃液をHAW貯槽に返送することを優先するのか、TVFの工程内で安定的な冷却を目指すのか、前提となる考え方を示すこと。
- ・上記の検討においては、事故対処の従事者のオペレーションの複雑性についても考慮すること。
- ・要素訓練の所要時間を元に事故対処の各操作の所要時間を見積もる際は、ウェットサイトを想定した場合のがれきの撤去など不確実性が大きい作業を考慮しても事故対処に時間余裕があることを説明すること。

○原子力機構より、了解した旨返答があった。

## 6. 配付資料

- 資料 1 : 東海再処理施設の廃止措置段階における安全対策のスケジュールについて
- 資料 2 : 再処理施設における代表漂流物の妥当性の検証について
- 資料 3 : 事故対処の有効性評価について
- 資料 4 - 1 : 分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について（1）
- 資料 4 - 2 : 分離精製工場（MP）等の津波防護に関する対応について（2）
- 資料 5 : TVFにおける固化処理状況について
- 資料 6 : 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール（案）について